

## 編集後記

DXについて知っているつもり程度の知識しかない私は、家人に「DXってどういう意味なの?」と聞かれ、何かの書物で読んだことをさも知っているかのように「昔は鉄道に乗車するときは切符を買って改札で鉄を入れてもらっていたら、それがSuicaの自動改札に替わったじゃない。今は1枚のカードで各社乗り継ぎまでできる、あれがDX」と答えることで繕っていました。そんな知識不足の私に今回、機関誌のDX特集担当が回ってきました。

企業が「デジタル化」を重要課題として取り組み始めていることが影響しているのでしょうか、一緒に担当する岡本さんの助言や編集委員皆さんの協力もあり、多くの方が執筆を快諾してくださいました。

巻頭言をお願いした東京大学特任教授小澤一雅先生から「DX推進の要諦は、多様なデータの連携から新たな価値を創造することである。まず、データ活用のためのデータ整備を図る必要があり、次に、異なる組織間でデータやアプリケーションを活用するためのシステムが必要である。さらに、DX推進のための組織の変革が有効であり、DXはこれらの活動を通して、ビジネス、組織、プロセスや文化の変革をもたらすと

言われる。建設産業がより付加価値の高いインフラサービスを提供する国際競争力の高い産業として発展することが望まれる。」という提言をいただきました。

執筆いただいた2本の行政情報は、「国土交通省が推進するインフラ分野のDX」、「建設機械分野のDXの取り組み」というタイトルで、「データとインフラ技術を活用したDX推進本部の施策」や「建設機械施工の自動化・自律化・遠隔化技術」について紹介していただきました。また特集報文も「データの整理・活用方法」、「データ活用事例」、「共通制御信号システム開発事例」、「システムの運用事例」など結果として巻頭言でいただいた提言について多くの実証事例報文が集まったと確信しています。そして「交流の広場」エアロセンス(株)様の「AIロボットと共生していく時代を、ドラえもん文化のある日本が、その世代が、世界をリードしていく」という言葉に将来への希望を感じました。

最後になりますが、ご多忙にもかかわらずご寄稿いただいた執筆者の皆様とご尽力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。執筆いただいたこれらの報文が、今後の建設機械施工DXの一助となりますなら幸甚です。ありがとうございました。

(赤坂・岡本)

### 8月号「橋梁特集」予告

・持続可能なインフラメンテナンスに向けた新技術の活用促進に係る取り組み ・道路橋における基礎の施工法と設計法の変遷 ・塩害と台風環境下における鋼橋の高防食技術の開発 ・JICAにおける海外協力 ・多軸式特殊台車を用いた重交通交差点上での夜間架設 ・多摩川スカイブリッジで活躍した施工機械 ・スパンバイスパン架設工法による橋梁上部工の施工 ・長大スパンのプレキャストセグメント張出し架設 ・下郷大橋におけるアーチリブの施工 ・タッカ都市高速鉄道6号線 橋梁及び高架駅建設工事 ・海外でのプレテンション桁の製作 ・関西圏都市部における中国道リニューアル工事 ・スマート床版更新(SDR)システムの開発 ・シンガポール公共工事40mスパンの仮設鋼構造トラス橋(歩道)の解体・撤去 ・床版取替工事向け多機能床版取替機 ・橋梁維持管理へのAI活用

### 【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。  
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	見波 潔

### 編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

### 編集委員

菊田 一行	国土交通省
垂井 保典	農林水産省
細田 豊	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
穴井 秀和	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
阿部 靖	(株)大林組
内藤 陽	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
川崎 智博	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
小黑 誠	(株)加藤製作所
本間 正敏	古河ロックドリル(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

### 事務局

(一社)日本建設機械施工協会

## 建設機械施工

第74巻第7号(2022年7月号)(通巻869号)

Vol.74 No.7 July 2022

2022(令和4)年7月20日印刷

2022(令和4)年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10	電話(052)962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への  
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中